

患者さんへ

「ラジオミクスを用いた脳転移に対する定位的放射線治療の早期効果判定に関する探索的研究」について

神戸低侵襲がん医療センター（以下、当院と致します）放射線治療科では、当院にて脳転移に対する定位的放射線治療を実施された患者さんのデータをもとにラジオミクスという手法を用いた早期治療効果判定の検討をしております。この研究は、診断や治療のために既に撮影された画像データや電子カルテ上の治療経過に関する情報を使用するものであり、新規に患者さんへお願いする事はありません。この調査研究についてご質問等がございましたら、この文書の最後に記載しております「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

【研究概要】

当院では脳転移に対して主にサイバーナイフを用いて定位的放射線治療を施行しております。この治療では治療効果や副作用、再発などを評価するために定期的な経過観察と症状に応じた継続治療が不可欠です。しかし一般的に撮影されている医用画像のみでは副作用として発生する放射線脳壊死と腫瘍の再発を鑑別診断することが困難であり、最適な治療方法の選択時期を逃してしまう可能性が危惧されます。そこで当院では近年注目を集めているラジオミクス（Radiomics）という手法を利用することを検討しております。ラジオミクスとはCTやMRIなどの様々な医用画像に対し、画像処理技術を駆使して特徴量を抽出し、治療前後の変化や治療経過などとの関連性を評価する手法です。2014年4月から2017年12月までに当院で脳転移に対して定位的放射線治療をされた患者さんを対象としておりますので、新規に患者さんへお願いすることはありません。

【取り扱うデータ】

本研究では、脳転移に対する定位的放射線治療を行った患者さんが診断や治療のために撮影された医用画像（CT、MRI、PET 画像）と電子カルテ上の臨床情報（治療効果や副作用に関する情報）を抽出し、解析致します。

【個人情報保護の方法】

個人情報、データなどは正確かつ検証が可能なように記録・保管致します。登録された患者さんの同定や照会は、登録時に定められた症例登録番号を用いて実施し、患者名などの第三者が直接患者を識別できる情報が本試験のデータベースに登録されることはありません。医用画像の解析に際しては、個人情報を全て削除した画像情報を抽出し、外部ネットワークから遮断された院内の専用ワークステーションでのみ実施致します。

【研究参加による利益・不利益】

- 利益・・・ 本研究により対象患者さん個人には特に利益と考えられることはございませんが、本研究の成果により、今後脳転移に対する定位的放射線治療を行う患者さんがより早期に適切な治療効果判定および治療方針の決定を受けることができる可能性があります。
- 不利益・・・ 一連の治療の中で必然的に得られる情報のみを解析するものであるため、特に不利益と考えられるものはございません。

【研究参加の取り止めについて】

いつでも可能です。参加を辞退されたい場合には、下記の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

【研究責医師（又は研究責任者）】

神戸低侵襲がん医療センター 放射線治療科 医学物理士 上原 和之

【問い合わせ窓口】

神戸低侵襲がん医療センター 放射線治療科 医学物理士 上原 和之
連絡先：078-304-4100